

下蒲刈中学校区 カリキュラムマップ

○自分の考えや思いをはっきりと表現できる子ども

目指す児童生徒像

1 「育成すべき資質・能力」の具体の姿

	基礎力	反復力	課題発見・解決力	コミュニケーション力	汎用力 (活用力)	貢献力 (実践力)
後期	基礎的知識・技能や能力を身につけることができる。	学んだことを定着させるために、粘り強く努力することができる。	自ら課題を設定し、情報を収集して課題を解決することができる。	他の人の意見を理解し、自分の意見を根拠をもって伝え、お互いに学び合い、新たな価値を生み出すことができる。	学んだことを広くつなげてよりよく生活に生かそうとすることができる。	社会の一員として、仲間と協力して豊かな未来を作り出そうとすることができる。
中期			自ら課題を設定し、情報を収集して進んで解決しようとする。	他の人の意見を理解し、自分の意見を伝え、相違点を意識しながらお互いに学び合うことができる。		
前期			与えられた課題に対し、進んで取り組むことができる。	他の人の意見をしっかりと聞くとともに、自分の意見も他の人に伝えることができる。		

2 カリキュラムマップ作成にあたり、発達段階ごとに大切にしたい視点

	大切にしたい視点	総合的な学習の時間、各教科等の特徴的な配列や重視した取組等
後期	協働して習得・活用・探究する学びを通して志を抱く	9年生では、夢の実現に向け、自分の進路について考え、調べたことを発信し志を抱く取組をした。 8年生では、職場体験学習を通して、社会の一員として自分のできることを実感した。
中期	協働して習得・活用する学びを通して夢を語る	7年生では、下蒲刈地区に受け継がれてきた太鼓を、地域行事や学校行事で披露する体験的活動を行った。 5, 6年生では、国語科や道徳、総合的な学習の時間を関連させて下蒲刈の魅力子どもガイドとして発信し、地域のために自分たちにできることや役割を考える活動へとつなげた。
前期	協働して習得する学びを通して夢を持つ	3, 4年生では、社会科と総合的な時間の学習を関連させて地域探検をもとに下蒲刈の名所や特産品を紹介する活動に広げた。 1, 2年生では、国語科と生活科を関連させて地域の良さを教え合う活動を取り入れた。

3 本中学校区のカリキュラムマップの特徴

総合的な学習の時間は、9年間を通して「地域探究」、「キャリア探究」を計画的に配列している。地域探究では、下蒲刈地区に受け継がれてきた歴史、文化を活かした単元づくりを行っている。キャリア探究では、学んだことを活用し、社会の一員として自分のできることを実践する場を位置づけている。